

○再整備・再配置の方向性

西武地区

(1) 地域対応施設

施設名	再整備・再配置の方向性		整備パターン	メリット・デメリット
地区センター	既存施設（公民館）の活用を前提とする。	1	西武公民館を活用する案	【メリット】 ・既存施設を活用することができる。 【デメリット】 ・複合施設として整備することを考慮した場合、敷地の拡張が難しい。
小学校	市街化が進んでいる地域であり、今後新たな学校用地となり得る広い土地はないため、既存施設を活用することを前提とする。	1	西武小学校を活用する案	【メリット】 ・地区の中心部に位置するため、多くの児童が通学しやすい。 【デメリット】 ・地区センター化を予定している西武公民館と隣接するため、地域の拠点施設が一か所に集中する。
		2	仏子小学校を活用する案	【メリット】 ・防災拠点として配置する上で、配置バランスが良い。 【課題等】 ・地区の南端に存在するため、通学距離が大幅に延びる児童がでてくる。
学童保育室	小学校の改修に合わせて校舎への複合化を図るとともに、小学校に合わせて統合する。	1	西武と仏子学童保育室を統合して小学校に複合化する案	【メリット】 ・統合することにより、施設面積が縮減できる。 【デメリット】 ・待機児童が生じないようにするためには、施設規模の拡大が必要になる可能性がある。

施設名	再整備・再配置の方向性	整備パターン	メリット・デメリット
中学校	市街化が進んでいる地域であり、今後新たな学校用地となり得る広い土地はないため、既存施設を活用することを前提とする。	1 西武中学校を活用する案	【メリット】 ・将来、更に中学校の統廃合を検討する必要が発生した場合、隣接する東金子地区との配置バランスが良い。 【デメリット】 ・地区の南端に位置するため通学距離が大幅に延びる生徒がでくる。
		2 野田中学校を活用する案	【メリット】 ・野田中学校を中心とする範囲に地区の住宅を多く収めるので、より多くの方の利便性が高まる。 【デメリット】 ・地区の西端に位置するため通学距離が大幅に延びる生徒がでくる。
保育所	既存施設の活用を前提とする。	1 西武中央保育所を活用する案	【メリット】 ・新たな用地取得が不要である。 【デメリット】 ・工事期間中、施設の休止や代替施設が必要となる。
地区体育館	既存施設の活用を前提とする。	1 西武地区体育館を活用する案	【メリット】 ・既存施設をそのまま活用することができる。 【デメリット】 ・特に問題はない。
老人憩いの家	施設更新は行わず、地域の自治会等への譲渡を検討し、施設機能は、他の地域対応施設に移転する。ただし、高齢者の利便性が著しく低下する場合は、一部施設の継続も検討する。		【メリット】 ・譲渡することにより施設面積が縮減できる。 【デメリット】 ・高齢者の利便性が低下する可能性がある。

(2) 広域対応施設

施設名	再整備・再配置の方向性
文化創造アトリエ	当面、修繕により維持する。ただし、施設の形態を変えるような改修工事は実施しない。